

フランスでミヨーに学び、ベートーヴェンを理想像とする

別宮貞雄のルーツ



1800
ベートーヴェン:
交響曲第1番 ハ長調 作品21
Ludwig van BEETHOVEN: Symphony No.1 in C-major, op.21

1923
ミヨー:
バレエ音楽《世界の創造》作品81
Darius MILHAUD: Ballet music "La création du monde" op.81

1935
イベル:
**アルト・サクソフォンと
11の楽器のための室内小協奏曲**
Jacques IBERT:
Concertino da camera pour saxophone alto et onze instruments

1961
日本フィル・シリーズ第7作
別宮貞雄:
交響曲第1番
再演企画第9弾
BEKKU Sadao: Symphony No.1
※実際の演奏曲順とは異なります。

指揮: **山田和樹** [正指揮者]
Conductor: YAMADA Kazuki, Principal Conductor
©山口 敦



サクソフォン: **上野耕平**
Saxophone: UENO Kohei ©日本コロムビア

第673回東京定期演奏会

2015 **9.4** **金** 19:00 開演
18:20 開場

9.5 **土** 14:00 開演
13:30 開場

プレトーク「本日の聴きどころ」開場 13:00

サントリーホール

プレトーク「本日の聴きどころ」は指揮者 山田和樹の登場です!

金曜日 18:30~
(ご自席でお聞きください)

土曜日 13:10~
(1階席1列~14列でお聞きください)

■ 料金 (消費税込み) 2015年6月24日(水)発売
S ¥7,200 A ¥6,000 B ¥5,200
C ¥4,200 P ¥3,200 Ys(25歳以下) ¥1,500

※Ys席は日本フィルでのみ扱います。S席以外から選べます。※未就学児の入場はご遠慮ください。※出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。※車いすの方、障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターまでお問い合わせください。

■ お申込み・お問い合わせ/日本フィル・サービスセンター

TEL 03-5378-5911 (平日10:00~17:00) FAX 03-5378-6161 (24時間)
Webサイト www.japanphil.or.jp [席を選んでお申込みできます]

- チケットぴあ... (0570)02-9999 <http://pia.jp/t/japanphil> Pコード/265-330
- e+【イープラス】... <http://eplus.jp>
- ローソンチケット... (0570)000-407 (オペレーター) <http://l-tike.com> Lコード/35173
- サントリーホールチケットセンター... 0570-000-407

託児サービス
(事前申込制・有料)

イベント託児®
マザーズ
TEL 0120-788-222
(平日10:00~17:00)

近代フランスから導かれる今昔物語



正指揮者山田和樹との定期は、毎回一風変わったプログラムなっています。今回は「日本フィル・シリーズ」再演企画の一環として演奏する別宮貞雄の交響曲を根幹に据え、別宮が師事したミヨーと終生尊敬の眼差しを向け続けたベートーヴェンを並べました。前者から引き継がれた洒落な音色感・和声感と後者から学んだ確固たる構成感が、別宮作品の中で息づいていることをご確認頂けるのではないのでしょうか? 「日本フィル・シリーズ」屈指のロマンティックな音楽ですから、「現代音楽」だからといって敬遠してしまうのはあまりにもモッタイナイ・・・。

併せてフランス繋がりではイペール作品では、ソリストに山田が強く推す若手サクソフォン奏者上野耕平を大抜擢いたします。

プレトーク
「本日の聴きどころ」は
指揮者 山田和樹の登場です!

金曜日 18:30~
(ご自席でお聞きください)

土曜日 13:10~
(1階席1列~14列でお聞きください)

ゲンダイオンガクは、どんな音でも音楽になる、いや演奏者が音を発さなくてもそれは音楽だ、というような言わば「何でも有り」のジャンルである。ゲンダイオンガクの作曲家たちは、それぞれの良心と哲学に従いながら、独自の音楽を創造していくことになる。

そんな中、東大文学部哲学科をベートーヴェンの論文で卒業した別宮貞雄さんの作曲信条は、「ただ聴くだけでわかる音楽」だった。なるほど、その作品は常に歌に満ち溢れていて、我々の耳と心にスッと入ってくる。

皆さん、「ただ聴くだけでわかるゲンダイオンガク」は
いかがですか?

山田 和樹



©marco borggreve

別宮 貞雄



©山口 敦

指揮:
山田 和樹
[正指揮者]

1979年神奈川県生まれ。東京藝術大学指揮科で小林研一郎・松尾葉子の両氏に師事。

第51回ザンソン国際指揮者コンクール(2009年)で優勝後、BBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。同年、代役でバリ管弦楽団を指揮、すぐに再演が決定する。2010年には、小澤征爾の指名代役としてスイス国際音楽アカデミーで、2012年8月には、サイトウ・キネン・フェスティバル松本で指揮し、絶

賛された。2015年1月よりBunkamuraで3年間全9回に渡る『山田和樹 マラー・ツィクルス』を開始。

日本国内主要オーケストラ、ヨーロッパ各地の主要オーケストラでの客演を重ねている。

現在、スイス・ロマンダ管首席客演指揮者、モンテカルロ・フィル首席客演指揮者(2016年9月から芸術監督兼音楽監督)、日本フィル正指揮者、横浜シンフォニエッタ音楽監督、仙台フィルミュージック・パートナー、オーケストラ・アンサンブル金沢ミュージック・パートナー、東京混声合唱団音楽監督。

著者に「山田和樹とオーケストラのとびらをひらく」(アリス館)。現在、音楽の友に『私的音楽論考』、共同通信社に『世界を翔るタクト』連載中。ベルリン在住。



©日本コロムビア

サクソフォン:
上野 耕平

1992年生まれ。これまでに須川展也、鶴岡奈民、原博巳の各氏に師事。

2011年東京藝術大学音楽学部器楽科入学。第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門において、第1位(史上最年少)ならびに特別大賞(内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、東京都知事賞)を受賞。スコットランドで行われた世界サクソフォンコンGRESSではソリストとして出場、イギリス王立ノーザン音楽院吹奏楽団と「ウズメの躍り」で共演し世

界の大御所たちから大喝采を浴びた。第6回アドルフ・サクソ国際コンクールにおいて第2位を受賞。2014年10月、デビューCD「アドルフに告ぐ」を日本コロムビアよりリリース。現在ソロ活動を中心に、オーケストラとの共演、自身のサクソカルテットで活躍。また、「題名のない音楽会」等テレビやラジオなどにも積極的に出演している。指揮者山田和樹氏より、「卓越した技術はもちろんのこと、叙情性に溢れる音楽が歌で満たされている」と絶賛されるなど、注目のサクソフォン奏者である。

《The Rev Saxophone Quartet》ソプラノ・サクソフォン奏者、ばんだウインドオーケストラコンサートマスター。

使用楽器:YAMAHA YAS-875EXG